

# 豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生のみなさんの意見及び市の考え方

市は、豊中市子ども健やか育み条例に基づき、第2期豊中市子育ち・子育て支援行動計画を策定し、子どもの健やかな育ちに関し、子育ち・子育ての支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。この計画の令和2年度(2020年度)の事業実施状況について、市内の小学校放課後こどもクラブ、中学校、高等学校でヒアリングを実施しました。《令和3年(2021年)11月～12月実施》

## 子どもの居場所について

- 気軽にいいかどうかわかりませんが、子どもたちが集まる楽しい場所だということがわかりました。
- 楽しそうな雰囲気や、どんなことをしているかがわかる発信を、運営者や利用者のコメントとともに発信したらいいと思います。



運営者の想いは、子どもの居場所ポータルサイト「いこっと」で発信していますが、より効果的に利用者目線で周知できるよう、アイデアやつながりを持つ若いみなさんと連携した発信をしていきたいと思えます。(こども政策課)

## 子どもの相談窓口(電話・LINE)を利用しやすくなるような工夫について、教えてください。

### <相談内容について>

マチカネくんのようなキャラクターを使ったり、「どんなことでもいいよ」というメッセージがあると相談しやすいです。



<小学生向けのアンケート>  
「困ったとき、悩んだとき、どこかに相談するとしたら、どれを利用しますか?」  
(回答数が多い順)

- ①でんわ
- ②メール
- ③てがみ
- ④LINEなどのSNS
- ⑤相談窓口に直接いく
- ⑥その他(先生に話す、家族に相談するなど)



### <周知方法について>

目にする機会が多い場所(学校や公園)へのポスターや、よく使うもの(クリアファイルやボールペン)、動画やアニメで啓発すると効果的だと思います。

### <周知デザインについて>

言葉は短くシンプルに、わかりやすいキャッチコピーや図やイラストがあると伝わりやすいと思います。

### こども相談課

子ども自身が必要なときに最適なタイミングで、ためらいなく相談できるよう、みなさんの貴重なご意見を参考に、窓口、周知等様々な工夫改善をしていきます。(こども相談課)

## 学校以外でのどんな体験活動に興味がありますか?

- 音楽活動、ライブ、球技、屋内スポーツ、スポーツ観戦、地域の人のお手伝い、多世代交流、農作物を作る体験など
- 体験活動の機会がコロナのため減少しています。

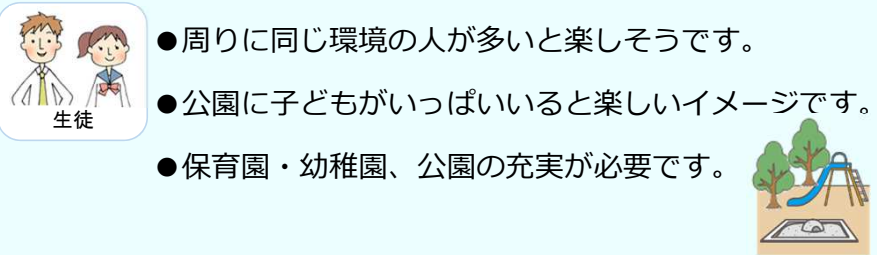


みなさんが自らの将来について考え、行動することができるように、さまざまな人との出会い、学び、体験できるような取り組みをすすめていきます。  
(青年の家いぶき)



# 豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生のみなさんの意見及び市の考え方

## 「子育てが楽しいまち」はどんなイメージですか？



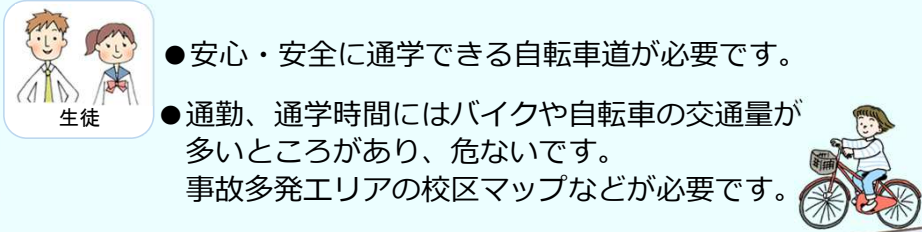
● 周りに同じ環境の人が多いと楽しそうです。

● 公園に子どもがいっぱいと楽しいイメージです。

● 保育園・幼稚園、公園の充実が必要です。

公園では親子イベント「公園de青空time」や「青空相談」等を実施しており、同じ環境の人とつながる場となっています。キッチンカーの提供など今後も公園を活用して、にぎわいの創出やまちの魅力アップに取り組んでいきます。  
(公民館・子育て支援センターほっぺ・公園みどり推進課)

## 安全に、安心して暮らすためにどんなことが必要だと思いますか？



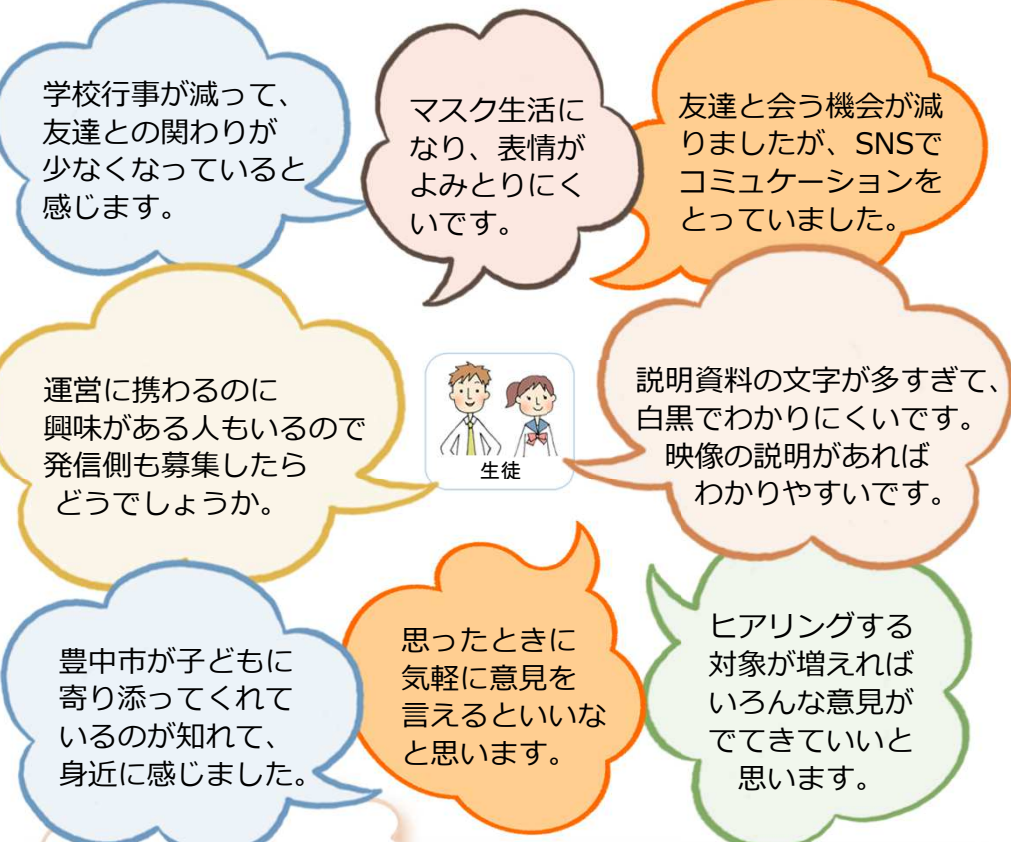
● 安心・安全に通学できる自転車道が必要です。

● 通勤、通学時にはバイクや自転車の交通量が多いところがあり、危ないです。事故多発エリアの校区マップなどが必要です。

● 歩行者と自転車利用者が、安心・安全に移動できるよう環境を整備し、ルールやマナーを学ぶ機会を提供していきます。

● 学校や園、保護者のみなさんで通学路等を定期的に点検し、校区の危険な場所のマップを作成し、市HPに掲載しています。マップの活用を検討していきます。  
(交通政策課)

## 新型コロナウイルス感染症について影響を受けたこと、こども施策全般について、今日の説明やヒアリングを受けての感想も含めて教えてください。



学校行事が減って、友達との関わりが少なくなっていると感じます。

マスク生活になり、表情がよみとりにくいです。

友達と会う機会が減りましたが、SNSでコミュニケーションをとっていました。

運営に携わるのに興味がある人もいるので発信側も募集したらどうでしょうか。

説明資料の文字が多すぎて、白黒でわかりにくいです。映像の説明があればわかりやすいです。

豊中市が子どもに寄り添ってくれているのが知れて、身近に感じました。

思ったときに気軽に意見を言えるといいなと思います。

ヒアリングする対象が増えればいろんな意見がでてきていいと思います。

こども政策課

こどもの社会参加促進として、ヒアリングを実施しました。具体的な提案含め、たくさんアイデアをいただきました。今後は、説明資料の見直しや、いつでも意見できる体制、発信方法について検討していきます。

千成小学校・豊島北小学校放課後こどもクラブ、第四・第十一・庄内さくら学園中学校、桜塚・千里青雲・豊島・刀根山・豊中高等学校の児童・生徒のみなさん合計136人にご協力いただきました。

たくさんのご意見をありがとうございました。